

編輯上の都合に由りて本誌に掲載するを得ざりし中、既に他の一二雑誌にも見えたれど、有益のものなれば、更にこゝに掲載することとせり

### 幼児に適切なる談話の種類及其教育的價值

●幼稚園に於ける談話の意義

談話は興味ある話題を用ひ幼児を樂ましめつゝ、其感情を育成し思想を陶冶して徳性啓發の資たらしめ發達に應じて漠然たる觀念を多少正確ならしめ觀察注意の習慣と發音言語の練習とを得しむる目的を以て保育者が幼児に聞かしめ或は保育者と幼兒との間になさるゝものを云ふ故に幼稚園の談話は必らずしも常に一定の時間に於てのみなさるべきものにわらず其他の保育事項を施すに際して

も必然附隨し來るを常とす、  
●談話の種類 談話の種類は大別して左の三種とす  
一 假作 二 實話 三 實話に假作を附加せるもの  
一、假作の談話は主として寓言と童話とをいふ  
(一) 寓言は道德的訓誡を寓したる簡單なる假作談なり兔と龜との談蟻と鳩との談の如し  
(二) 童話、寓言に比して多くは纏りたる物語の體をなし必らずしも道德的訓誡を含みたるものゝみに限らず時には全く非訓誡のものもあり桃太郎、松山鏡 七匹の山羊等の如し  
二、實話 實話の範圍は甚だ廣し偶發事項の談話庶物の談話事實の談話等皆之に屬す  
(一) 偶發事項の談話、偶然實際に起りたる出來事につきての談話、往復途中幼稚園に於ける日常

の心得等所謂躰け方に關する談話は多く此中に含まるゝものなり

(二) 庶物の談話、幼兒に親近なる自然物及加工品につきての談話を云ふ

(三) 事實談話祝祭日につきて簡單なる説明著名なる人物及び出來事に付きての談話等をいふ

三 實話に假作を附加したるもの

主として英雄談神話等に見るものにして多少の

事實に想像を附會して作爲せられたる談話を云

ふ俵藤太の話、大國主尊の話の如きこれなり

以上の種類の中にて假作の談話に國民的材料と世

界的材料とあり小學校の教授に用ふる爲にはもと

より重きを國民的材料に置くを至當とすれども興

味を基とせる幼稚園談話の材料としては其間にさ

したる徑庭を設くるを要せず何となれば童話に對

する趣味の相違は幼兒期にありては東西幼兒の間に於て尙未だしかく著しからざるを以てなり故に例へばグリムの童話に於て彼國教育者の見て以て可とする材料は同じく我國の幼兒に用ひても其目的を達するを得べきが如し殊に寓言に至りては我國に於て尙未だ適當なる一般的の者なきに反しイソップの如き殆んど普遍的となりたるものに在りては幼兒の趣味嗜好に適するもの頗る多きを見る●材料の選擇 以上の種類の中にて談話の主意よりいふ時は修身的敎訓を主とする者あり庶物の智識啓發を主とするものあり寓言童話神話英雄談事實談話の如きは専ら前者に屬す後者に屬するものは専ら日常幼兒の觀察する事物につきて偶發的になし或は上述の談話中に顯はるゝ事項につきてなすを可とす例へば隨時庭園内の花實禽獸魚蟲等

につき或は桃太郎舌切雀の談話に於て桃雀等に付

て特に簡單なる觀念を得しむるが如し故に童話の

種類を採擇するに際して必ずしも修身的訓誡の一

面にのみ偏することを避けこれによりてまさに幼

兒の感情思想の全班を育成陶冶せんことを力む可

きなり寓言童話等の適切と認めたるものを採擇し

大凡幼兒の年齢に應じて排當すること左の如し

自三年至四年

(一) 桃太郎 (二) 舌切雀 (三) 犬の子供を救ひし

話 (四) 雛親鶏の命に従はずして苦しみし話

自四年至五年

(一) 浦島太郎 (二) 金太郎 (三) 犬と影 (インツ

プ)

(四) 兎と龜(同上) (五) 獅子と鼠(同上) (六) 墓

と鼠と鳶(同上) (七) 狐と猫(グリム)

自五年至六年

(一) 花咲爺 (二) 牛若丸 (三) 大國主尊 (四) 蟻

と鳩(インツプ) (五) 鳥と蛤(同上) (六) 狐と狼

(グリム) (七) 小人と靴屋(同上)

駢け方及庶物に關する談話は前既に述べたるが如

くなるを以て時に題目を一定するの要を見ず但し

庶物に關しては大体左の範圍に互らんことを要す

一 肢体 顔 頭 手足等

一 動物 獸類 鳥類 魚蟲等の幼兒に極めて親近

なるもの

一 植物 草木 果實 野菜等の親近なるもの

一 鑛物 石 土砂等

一 自然現象 風 雨 雪 日 月 山海 川等

其他平素熟知せる器具玩具被服舟車等の類

●談話の教育的價值 凡百の道德的思想行爲の萌芽は同情に在りといふべく而して同情の發達は實に想像の發達と相伴ふ幼兒期に於て徳性啓發の資に供せんがために談話を利用するに當りては須らく是によりて幼兒の心情を育成し其思想を陶冶し其狹隘なる經驗界を補充し以て想像力發達の材料を供し之に由つて同情の發達を促し依て以て道德的思想行爲の萌芽を培養することを得べきなり

觀察の粗漏注意の不精密は單に心力發達の上に及ぼす影響大なるに止まらず實に又徳性發達の上に影響すること尠からず善良なる觀察注意の習慣は必ずずやこれを幼年時代より涵養するにあらずんば決して一朝一夕に得べきにあらず而して談話に於ては即ち多く實物標本等によりて幼兒の發達到相當せる觀察注意の力を得しむるを以て其點に關

する談話の價值も亦極めて大なるものあるべし

心力の發達は又言語の發達に待つものあり而して言語の練習は多くは自然の間に進行するものなりと雖も保育者の注意の如何によりて其正しきを得ると得ざると其發達の速なると速ならざるとに非常の徑庭を生ずるは明なり言語練習を得しむる點に於て談話の價值は更に大なるものありといふべし

●談話の方法 一般に材料の價值は方法の如何によりて定まると多し殊に談話に於て其然るを見る

談話の方法は大略左の二に分つを得べし

- (一) 説話式
- (二) 對話式

説話式は主として保育者より幼兒に聞かしむるものにして専ら新しき材料を授くるを以て目的とす

寓言、童話、神話、英雄談の類は此の方式による

こと多し

對話式は保育者と幼児との對話の形を取るものにして主として幼児をして思想の發表に慣れしめ發音言語の練習を得しむるを以て目的とす既知の談話日常の心得庶物の談話等は此方式によること多し

談話に於ては繪畫實物は實に必須の材料なり繪畫は想像を活潑ならしめ理解を容易ならしむるために缺くべからず若し夫れ庶物の知識を啓發せんがためには實物標本の觀察なくしては殆ど其目的を達すること能はざるべきなり

### 遊園の設備

●遊園の必要 清潔の空氣廣潤の場所自然の界に於て幼児を活動せしむるとは其心身發育の上に取れて極めて切要のことなりとす故に幼稚園に於て

多數の幼児を收容保育するに際しても特別の事情の存せざる限りは完全なる遊園を設備しこれを自然の保育場として利用せざるべからず現今多數の幼稚園を見るに遊園の設備の如きは毫も顧慮する所なく多くは狹隘なる室内に數十の幼児を集め多數の時間を専ら此處に消費せしめつゝあるが如きは誠に保育上宜しきを得たりといふべからず蓋し保育上よりいふ時は普通の場合に於ては専ら遊園を以て保育場とし保育室の如きは寧ろ休憩の所として考ふるを至當とすべきなり此意味より見る時は幼稚園の遊園を小學校の運動場の如きものとするは尙未だ遊園の價値を解せず幼稚園の生命は寧ろ遊園にありといふことを知らざるものと云ふべし

殊に都會の地に在りては各人の家庭に廣潤なる庭